



## 2. 投稿原稿の体裁

- ①投稿原稿は、表紙、和文要旨、和文キーワード、英文要旨、英文キーワード、本文（謝辞、付録、記号表、参考文献を含む）および図表で構成され、表紙から通し行番号とページ番号をつけた、一つの文書ファイル（DOC(X)形式に限る）とすること。また、②～⑤に記された体裁となるように作成すること。なお、投稿原稿の見本が本会ホームページからダウンロード可能である。
- ②表紙には、A4判1ページに表題（和文および英文の両方）、著者名、所属を記すこと。
- ③和文要旨と和文キーワード、英文要旨と英文キーワードは、それぞれA4判1ページに納まるように作成すること。
- ④本文は、A4判1ページあたり1400字程度を目安にして、マージン、文字数、行数、文字サイズを設定し、見やすく作成すること。
- ⑤図表は、本文とは別にして図表ごとにページを分けて作成し、それぞれに図表の通し番号およびタイトルを記すこと。
- ⑥投稿原稿は、アップロード後にPDFファイルに自動変換される。その際、文字化けや数式のずれなど、体裁に不備がないかを必ず確認すること。ファイル容量は、20MB以下にすること。なお、掲載決定後、紙面作成上の問題がある場合には、別途指示されたファイル形式の掲載用原稿の提出を求められることがある。

## 3. 参考文献の記載方法

### (1) 雑誌

- ① 著者名、掲載年、表題、雑誌名、巻、ページの順に記す。掲載年は（ ）書きし、表題、雑誌名、巻、ページそれぞれの間をコンマ（和文誌では全角、英文誌では半角を用いる）で区切り、最後はピリオド（体裁はコンマの場合と同じ）を付すこと。
- ② 字体は、和文誌の場合には明朝体を、英文誌の場合の学名および英文雑誌名にはイタリック体を用いること。
- ③ 雑誌名については、和文誌の場合には省略せずに記し、英文誌の場合には省略名を用いてもよい。省略方法はそれぞれの雑誌の慣用に従うこと。
- ④ 巻（Vol.）についてはボールド体を用い、ページについては原則として通巻ページを記すこと。ただし、号（No.）ごとのページのみで整理される雑誌の場合には、巻の次に号を（ ）内に記し、号ごとのページを記すこと。巻数がなく号数のみの雑誌の場合には、号のみを（ ）書きとすること。

### 記載例

- 1) 吉村孝一、中栄篤男（1982）活性汚泥による直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム（LAS）の生分解性に関する研究（I）—LASの吸着機構について、水質汚濁研究，**5**，27-34.
- 2) Kikuchi, M., Wakabayashi, M., Kojima, H. and Yoshida, T. (1980) Bioaccumulation profiles of <sup>35</sup>S-labelled sodium alkylpoly (oxyethylene) sulfates in carp (*Cyprinus carpio*), *Water Research*, **14**, 1541-1548.

### (2) 単行本

- ① 著者（编者）名、発行年、書名、ページ、発行所、発行場所（都市名）の順に記す。発行年は（ ）書きし、書名、ページ、発行所、発行場所それぞれの間をコンマ（和文誌では全角、英文誌では半角を用いる）で区切り、最後はピリオド（体裁はコンマの場合と同じ）を付すこと。字体については(1)の②に準ずること。
- ② 書籍の一部の章等を参考文献とする場合には、章等の著者名、発行年、章等の表題、書名（和文書籍「」書き、英文書籍“in ” ”書き）、编者名（和英文書籍ともに“( )”書き）、ページ、発行所、発行場所の順とすること。
- ③ ページの表記は、1冊すべてを引用する場合には“○○pp.”、一部分の場合には“pp.○-○”の表現を用いること。

## 記載例

1) Fogg, G. E. (1975) Algal Cultures and Phytoplankton Ecology, 2nd Ed., 175pp., Univ. of Wisconsin Press, Madison, Wisconsin.

2) 合田 健 (1975) 水質工学 (基礎編), 150pp., 丸善, 東京.

3) Bierman, V. J. Jr. (1976) Mathematical model of the selective enhancement of blue-green algae by nutrient enrichment, in "Modeling Biochemical Processes in Aquatic Ecosystems" (Ed. Canale, R. P.), pp.1-29, Ann Arbor Science, Ann Arbor.

4) 坂本 充 (1982) § 3 湖沼の富栄養化, 「湖沼環境調査指針」(社団法人日本水質汚濁研究協会編), pp.11-13, 公害対策技術同友会, 東京.

### (3) ウェブページ

① 著者(编者)名, 作成年(不明の場合は省略可), ページ名, URL, 確認年月の順に記すこと。作成年および確認年月は( )書きとする。確認年月は原稿執筆時の直近とし, “○年○月時点”の表現を用いること。また, ページ名, URL それぞれの間をコンマで区切り, 最後はピリオド(体裁はコンマの場合と同じ)を付すこと。

## 記載例

1) U.S.EPA (2007) EPI Suite, Version 3.20, <http://www.epa.gov/opptintr/exposure/pubs/episuite.htm> (2008 年 10 月時点).

2) 農林水産省動物医薬品検査所 (2008) 動物用医薬品等データベース, [http://www.nval.go.jp/asp/asp\\_dbDR\\_idx.asp](http://www.nval.go.jp/asp/asp_dbDR_idx.asp) (2008 年 10 月時点)

(平成 21 年 2 月 9 日制定)

(平成 22 年 3 月 24 日改正)

(平成 22 年 12 月 6 日改正)

(平成 23 年 2 月 24 日改正)

(平成 23 年 10 月 1 日改正)